

“Diversity”とは「多様性」という意味です。人と違う自分を認め、自分と違う人を受け入れる。

1つの「同じ」を嬉しく思い、1つの「違い」を楽しめる。私たちの社会をカラフルなものにしてくれる「多様性」を、大切にしていきたいですね。

みなさん、こんにちは。長かった酷暑もようやく一段落し、過ごしやすい季節になってきましたね。この度、英語学校でニュースレターを発行することになりました。年に3回ほどお渡しする予定です。このニュースレターを通して、英語学習のポイントや世界の面白事情、YMCAのイベント情報などを皆さんにお伝えできればと思っています。お楽しみに！

先生からのメッセージ

Living outside your home country for an extended time is a life-changing experience if you keep your mind open. I used to say, “That’s not the way we do things in Canada. Now I say, that’s not the way we do things in Japan”.

I unconsciously moved myself from being a *we* in Canada to including myself as a *we* in Japan. So now, as I consider moving from this beautiful country, what shall I consider my *home*? Is it where my feet touch the earth, or is it where my heart is? Why can’t it be both?
Penny Wright (ペニー先生)

世界の面白文化

～知っていますか？不思議なタイ語～
みなさん、こんにちは。私は学生時代タイのYMCAで2年間ボランティアをしていました。その時に感じた不思議なタイ語を少し紹介します。タイ語で「ピー」という言葉があります。この言葉は日本語の「～さん」のように年上の方の名前の前につけて使います。私の名前は英彦（ひでひこ）というので、子どもたちからは「ピヒデ」と呼ばれていました。食堂やレストランで店員さんの名前がわからなくても「ピー」と呼べば来てくれます。相手が年下の場合は「ノーン」と呼びます。年下か年上かわからないときはちょっと困ってしまいますが・・・。
大塚英彦（ティラノリーダー）



スタッフ旅行記 だいぶ前の話になりますが、ゴールデンウィークにワークキャンプでモンゴルに行ってきました。ワークキャンプとは、泊まり込みで行うボランティアのことです。いろいろな国から集まった参加者と寝泊まりをしながら活動を行います。食事の準備や掃除も自分たちで行います。今回、私たちは植林活動をしてきました。モンゴルの森林面積は国土の10%程度と、もともと少ないですが、近年土地開発や地球温暖化の影響で、その割合はますます小さくなっているそうです。モンゴルというと「スーホの白い馬」の世界を想像すると思いますが、まさにそのイメージ通りです。首都のウランバートルから車で1時間ほど行けば、どこまでも続く草原が広がっています。草原といっても、もちろん家畜の糞はいたるところに、死骸もいくつか見かけました。しかし、視界を遮るものは何もなく、空は横にもあったのだと思わせてくれる、そんな風景です。その開放的な空間に興奮して家畜を追いかけ回していたら、飼い主に叱られたことは言うまでもありません。 諏訪小百合（ももリーダー）

イベント情報

Enjoy! イングリッシュキャンプ

- <日 程> 2018年12月1日(土)～2日(日) <対 象> 小学1-6年生
- <参加費> 横浜YMCA会員 20,700円(税込)、一般の方 23,940円(税込)
- <内 容> 英語のアクティビティ、クリスマスパーティー、アウトドアクッキングなど
- <会 場> 三浦YMCA グローバル・エコ・ヴィレッジ

イングリッシュウィンターランド

- <日 程> 2018年12月26日(水)・27日(木)・28日(金)
- <時 間> 幼児(年少～年長) 10:00-14:30 / 小学生(1-4年生) 9:30-15:00
- <場 所> 横浜中央YMCA 8階教室
- <参加費> 幼 児：19,610円(会員)、20,690円(一般)
小学生：21,600円(会員)、22,680円(一般)
- <内 容> 3日間、英語でアクティビティを行うお預かりプログラムです。英語がはじめてのお友だちも楽しく参加できます。
1・2日目は、歌・ゲーム・工作などのアクティビティを通して楽しく英語にふれます。
3日目はそれを生かして、幼児・小学生合同でイングリッシュパーティーをします。

